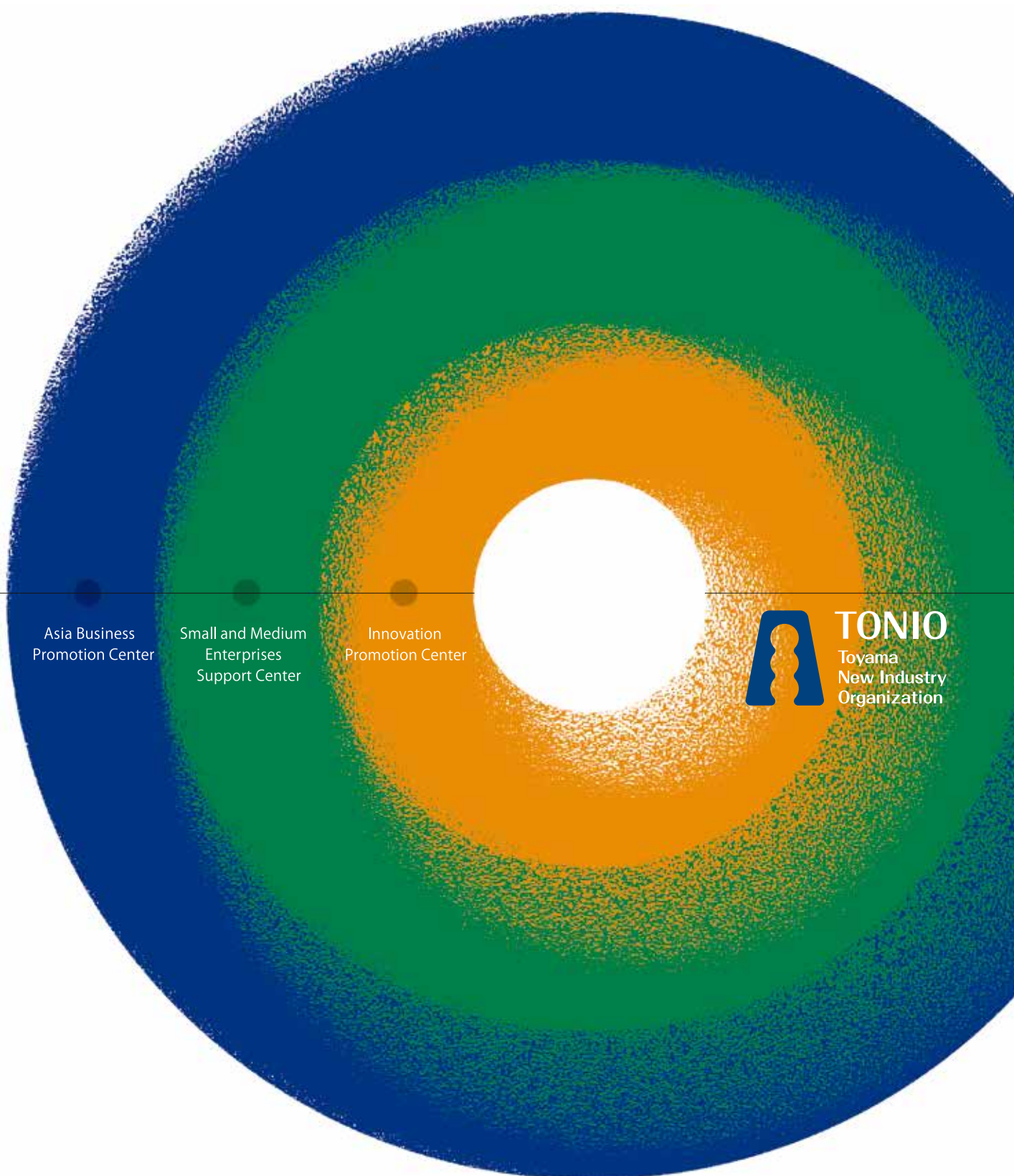




Asia Business
Promotion Center

Small and Medium
Enterprises
Support Center

Innovation
Promotion Center



TONIO
Toyama
New Industry
Organization

公益財団法人富山県新世紀産業機構は、創業・ベンチャー、経営革新、技術開発、販路・流通拡大等、企業経営や事業展開のなかで直面するさまざまな課題に対して、効果的な解決を図るためにワンストップで支援する総合支援機関です。

富山県や産業支援機関等と連携・協調を図りながら、新産業の育成・創出、企業経営の革新、アジア経済交流の推進等、活力ある地域経済の形成と富山県産業の躍進のために事業を展開してまいります。

3センターによる 実施体制 CONTENTS

- P.3 **1. 起業家・ベンチャー企業等の支援**
- 創業等への支援
 - スモールビジネス・コミュニティビジネスでの創業チャレンジ支援
 - UIJターナー者に対する創業チャレンジ支援
 - 元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド
- P.4 **2. 経営の革新・活性化支援**
- 窓口相談の実施
 - 専門家の派遣
 - よろず支援拠点の設置
 - 下請かけこみ寺の各種相談
 - 中小企業の収益力改善、事業再生支援
 - 事業承継・引継ぎ支援
 - 中小企業等の外国出願助成
- P.5
- 地域資源を活用した事業支援
 - 農商工連携を活用した事業支援
 - 小さな元気企業の応援

とやまの企業の元気づくりを ワンストップで支援します。

企業の成長段階に応じた
主なサポート体制

準備期間（卵期）
起業人の育成

創業前後（ふか
孵化期）

（ 創業・ベンチャー ）

- 創業チャレンジの支援

（ 資金面等の支援 ）

- とやま中小企業チャレンジファンド
- 元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド



- P.5 **3. 販路の開拓支援**
- 受発注取引のあっせん・紹介
 - 商談会の実施
 - 販路開拓の挑戦支援
 - 大都市圏への販路開拓支援
- P.5 **4. 情報化の支援**
- デジタル初心者に対する支援
 - メルマガ・図書等による情報提供

- P.6 **5. 産学官連携の推進**
- グリーン成長戦略分野の取組み
 - ロボット技術研究ネットワークの推進
 - 医薬工連携イノベーション創出の推進
 - アルミ産業成長力強化戦略の推進
 - ヘルスケア産業育成創出の推進
 - 企業におけるデジタル化の促進

- P.7 **6. 新産業・新技術の創出支援**
- 産学官オープンイノベーションの推進
 - ものづくり研究開発支援
 - 成長型中小企業等研究開発支援



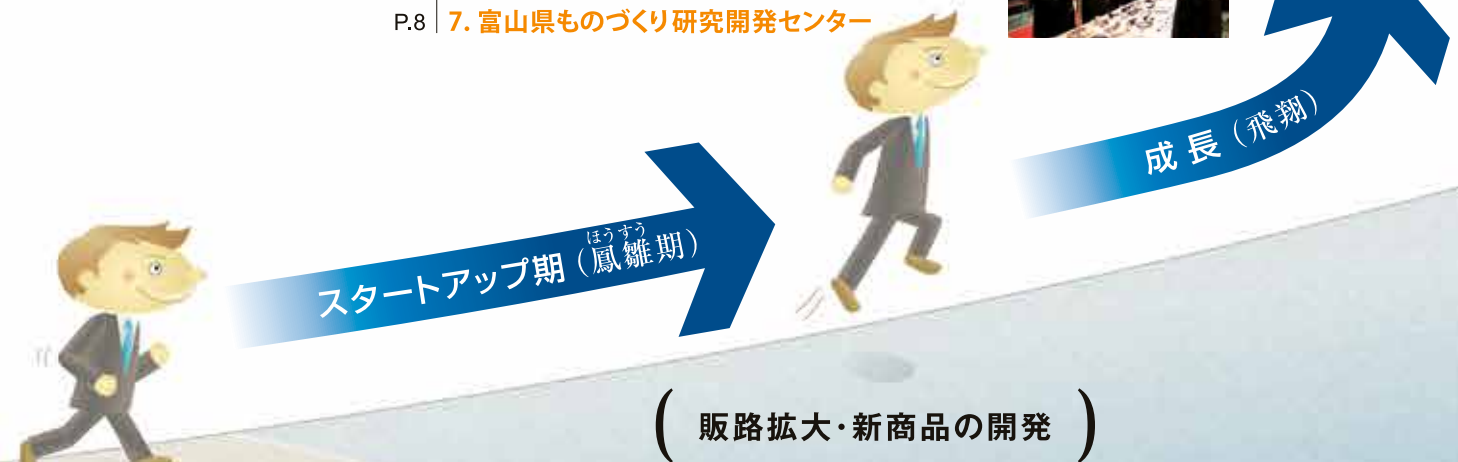
- P.8 **7. 富山県ものづくり研究開発センター**

- P.9 **8. アジア経済交流の推進**
- アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等
 - 各種セミナー・中国研究会の開催

- P.9 **9. 海外展開相談窓口の設置**
- アドバイザーの配置

- P.10 **10. 海外市場開拓の支援**
- 国際見本市への出展支援
 - 海外バイヤー招へい商談会の開催
 - 経済交流ミッションの派遣
 - インターネット・SNSを活用した海外販路開拓支援
 - 海外現地での販路開拓支援

- P.10 **11. 富山県ものづくり総合見本市の開催**



(研究開発の支援)

● 産学官連携の推進

● 新産業・新技術の創出支援
(県・国による研究開発支援事業)

● 富山県ものづくり研究開発センター
利用による高度産学官共同研究支援

● 窓口相談の実施

● アジア経済交流の推進

● 海外展開相談窓口の設置

● 海外市場開拓の支援

● 富山県ものづくり総合見本市

● 大都市圏への販路開拓支援

● 広域商談会の開催

● 受発注取引のあっせん・紹介

● 地域資源活用等による
新商品・新サービス開発支援

● 新商品・新事業創出支援



Toyama New Industry Organization

中小企業支援センター

創業・ベンチャーへの挑戦を応援し企業の経営革新を支援

1. 起業家・ベンチャー企業等の支援

■ 創業等への支援

● スモールビジネス・コミュニティビジネスでの創業チャレンジ支援

創業予定者からビジネスプランを募集し、新規性・独自性のある計画または地域の活性化に貢献する計画に対して、創業時の初期経費の一部を助成します。

助 成 率	1/2
助成限度額	100万円

● UIターン者に対する創業チャレンジ支援

富山県外から移住し、社会的事業に取り組む計画に対して、創業時の初期経費の一部を助成します。また、起業支援事業に採択された方には、最大で100万円の移住支援金が支給されます。

○ 起業支援金

助 成 率	1/2
助成限度額	200万円

○ 移住支援金

移住前の居住地または勤務地	東京23区内	その他地域
金 額	世帯100万円 単身 60万円	世帯50万円 単身30万円
申 請 先	各市町村窓口	富山県新世紀産業機構

■ 元氣とやま中小ベンチャー総合支援ファンド

株式や社債の引き受けによる長期低利の資金提供を行います。

① 間接投資	② 直接投資
ベンチャーキャピタルによる投資 (株式取得・社債引受) 限度額5,000万円 償還10年以内	間接投資を受けた中小企業に対して 直接投資(社債引受) 限度額1,000万円 償還10年以内
③ 社債債務保証	
間接投資債務保証 保証料/年0.5% 保証割合/社債引受元本の70%	



富山県創業支援センター／創業・移住促進住宅
SCOP TOYAMA(スコップトヤマ)

販路開拓マネージャーの指導を受け 高級素麺を大都市圏に、海外に

ガラス加工メーカーの三芝硝材が、旧利賀村等が行っていた清流素麺の事業を引き継いだのは令和元年11月のこと。関連会社のグラスキューブが事業の立て直しを図ることになった。同素麺は輪島の白髪素麺の流れをくみ、手延べで4日以上かけて低温風乾燥させて製麺。味、食感のよさは最高であるが、価格が高いため販路開拓が難しかった。

そこで営業を統括する中川信長氏は当機構を訪問。「中小企業首都圏販路開拓支援事業」（令和4年より「中小企業大都市圏販路開拓支援事業」）を活用し販路開拓マネージャーの指導を受けながら営業を続けると、首都圏の高級スーパーと関西の自然食のお店が扱うことに。「マネージャーは大手商社のOBで、素晴らしい営業のノウハウをお持ちでした」と中川氏は振り返るが、その勧めで海外市場もうかがおうと「海外販路開拓商談会」に参加したのだ。

その結果、アジアのバイヤー2社が高級素麺に惚れ込み、輸出の準備を進めるようになった。



▲「清流素麺」の製造風景。手延べで、4日以上かけて低温風乾燥させるためコシの強い麺になる。

▲加賀藩御用素麺の源流、輪島の白髪素麺の技法を受け継ぐ「清流素麺」。食味、食感は日本の素麺の中では最高級。



◀令和4年11月開催の「海外販路開拓商談会」に参加した同社は、アジアの4カ国に流通網を持つバイヤー2社と商談し、輸出に向けて準備を開始。

2. 経営の革新・活性化支援

■ 窓口相談の実施

中小企業の経営や技術革新、新製品開発や販路拡大などさまざまな相談に対して、豊富な知識と経験を持つ専属スタッフが対応します。

■ 専門家の派遣

高度で専門的な課題に対しては、経営、技術、情報化など多様な分野の専門家を派遣し、確かな診断と助言を行います。

◎派遣費用／1回あたり3万円（事業主1/3負担）

■ よろず支援拠点の設置

「富山県よろず支援拠点」では、各分野の専門家であるコーディネーターが、事業者の相談に応じ、経営課題を分析、課題解決に向けた総合的・先進的経営アドバイスを行うほか、各支援機関との連携、課題ごとの適切なチーム支援など、環境の変化や事業の成長段階に応じた支援を継続的に行います。

総合相談窓口
（ワンストップサービス）

コーディネーター
・ 中小企業診断士
・ 社会保険労務士
・ 税理士
・ ITコーディネータ 等

■ 下請かけこみ寺の各種相談

中小企業からの取引に関する様々な悩み、相談に親身になって対応します。また、紛争解決の迅速・簡便な手段としてADR手続きを行います。

■ 中小企業の収益力改善、事業再生支援

中小企業活性化協議会では、金融機関・民間専門家等と連携し、県内中小企業の収益力改善・事業再生・再チャレンジを一元的に支援します。

■ 事業承継・引継ぎ支援

親族内承継や第三者承継などの事業承継に関するさまざまな課題を解決するため、事業承継計画の策定、マッチング、経営者の個人保証の解除などの支援をワンストップで行います。

■ 中小企業等の外国出願助成

県内の中小企業等が外国へ特許等を出願する場合、その出願経費の一部を助成します。

	助 成 率
特 許 出 願	1/2以内（上限150万円）
商標・実用新案・意匠登録出願	1/2以内（上限 60万円）
冒認対策商標出願	1/2以内（上限 30万円）

■ 地域資源を活用した事業支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)が富山県の指定する地域資源(産地の技術や農林水産、観光資源)を活用した新商品・新サービスの開発やそれに伴って行う販路開拓事業に対し助成します。

助 成 率	1/2
助 成 期 間	最長2箇年度
助成限度額	300万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

■ 農商工連携を活用した事業支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者またはNPO等と農林漁業者が連携し、双方の経営資源を活用した新商品・新サービスの開発やそれに伴う販路開拓事業に対し助成します。

助 成 率	2/3
助 成 期 間	最長2箇年度
助成限度額	200万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

■ 小さな元気企業の応援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内小規模企業者(グループ含む)の商品開発や販路開拓等の取組みに対し助成します。

助 成 率	1/2
助 成 期 間	最長2箇年度
助成限度額	50万円 (県外の販路開拓経費については、25万円※)

※ただし、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の展示会等に出展する場合は35万円。

3. 販 路 の 開 拓 支 援

■ 受発注取引のあっせん・紹介

県内中小企業の受注機会を増やすため、県内外企業の発注情報の収集・提供をしています。

■ 商談会の実施

東京・大阪・名古屋地区で広域商談会を開催しています。

■ 販路開拓の挑戦支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の展示会や見本市への出展、海外の市場調査・広報に関する活動等の販路開拓事業に対し助成します。

	県外市場開拓	国外市場開拓
助 成 率	1/3	1/3
助 成 期 間	最長2箇年度	最長2箇年度
助成限度額	25万円	50万円

※ただし、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の展示会等に出展する場合は35万円。
県外分及び国外分の両方で事業を実施する場合の上限額は50万円。

■ 大都市圏への販路開拓支援

大都市圏の企業へ自社製品を売り込みたい県内中小企業に対して、コーディネーター等を活用して販路開拓を支援します。

4. 情 報 化 の 支 援

■ デジタル初心者に対する支援

デジタルツールやDXに関する初心者向けの講座を開催します。

■ メルマガ・図書等による情報提供

メルマガやSNS(Twitter、Facebook等)において、中小企業者に役立つ助成金やセミナーなどの情報を配信しています。

また、機構内には経営関連の図書や雑誌・新聞等の資料、社員教育・繁盛店情報など企業に役立つDVD等を多数取り揃えております。DVDや図書等は自由に閲覧・視聴でき、無料貸し出しサービスも行っています。



Twitter



Facebook



図書ライブラリ



Toyama New Industry Organization

イノベーション推進センター

産学官の連携とイノベーションの推進による
富山ならではの新産業の育成・創出

5. 産学官連携の推進

■ グリーン成長戦略分野の取組み

地球温暖化対策で成長が期待される産業分野として「次世代自動車」、「環境・エネルギー」を含む新たな「グリーン成長戦略」分野の取組みを推進するため、セミナー等の開催や先進地視察による情報提供、情報交換の場を提供します。また、産学官グループによるこの分野に係る研究開発を支援します。

	単独企業枠	複数企業枠
助成率	2/3*	
助成期間	最長3箇年度	
助成限度額	500万円/年	1,000万円/年

※ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10/10。

■ ロボット技術研究ネットワークの推進

次世代ロボット関連産業の創出、育成、ロボットの利活用を促進するため、情報提供、情報交換の場を提供し、セミナー開催等により、ネットワークを推進します。

■ 医薬工連携イノベーション創出の推進

医療現場等における多数のニーズをもとに、医薬品関連企業やものづくり企業と医療・介護関係者、医療機関等が連携し、イノベーション創出を推進します。

■ アルミ産業成長力強化戦略の推進

アルミの特性を活かした研究開発プロジェクトの事業化やアルミのグリーン化に関する研究開発を支援するほか、インターンシップ、海外技術者との交流を通じた人材育成等を実施します。

■ ヘルスケア産業育成創出の推進

ヘルスケア産業研究会を設置し、セミナー開催、コーディネーターによるマッチング活動、ヘルスケア製品開発の支援等を行います。

■ 企業におけるデジタル化の推進

IoT等、デジタル技術の初期導入に関する相談窓口を設け、総合的な対応を実施します。企業での出前講座、指導者派遣による企業課題の解決に向けた提案を行っています。

デジタルハブ
(技術交流ビル1階)



6. 新産業・新技術の創出支援

産学官オープンイノベーションの推進

バイオ、医薬工連携、航空機、次世代自動車、ロボット、環境・エネルギー、ものづくりなどの成長分野を中心に、産学官グループから研究開発テーマを公募し、新商品・新事業創出に結びつく研究開発を支援します。

	イノベーション創出促進事業
助成率	2/3*
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	500万円/年

※ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10/10。



富山湾海洋深層水の電解質を活用した病者用食品としての経口補水液の開発(医薬品・化粧品、健康食品・飲料等の製造メーカー&富山大学)



環境配慮型疎水化CNFマスターバッチの開発(産業機械メーカー&富山県立大学)

ものづくり研究開発支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の新商品・新技術の研究開発等による競争力強化の取り組みに対し助成します。

助成率	1/2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	200万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

成長型中小企業等研究開発支援

特定ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発について、中小企業等及び地域の大学等との研究機関等が連携して行う取り組みを支援する事業*に関し事業管理機関として支援します。

※本事業は経済産業省が実施する事業です。

助成率	(1)中小企業等:2/3以内 (2)大学・公設試等:定額
助成期間	2年度又は3年度
助成限度額	通常枠:単年度あたり4,500万円以下 2年間合計で7,500万円以下 3年間合計で9,750万円以下

CASE

2

株式会社高田製作所 高田 晃一 社長

▶ P.5 大都市圏への販路開拓支援

▶ P.7 ものづくり研究開発支援事業

鋳造が難しい高純度アルミで商品開発 新商品カーストッパーがヒット商品に

高田製作所が、高純度アルミの鋳造法の開発に乗り出したのは平成9年のこと。2年間の試行錯誤の末、鋳物表面によじれたような隙間や穴の出ない、きれいな鋳造法を開発した。そして仕事のかたわら商品開発を続け、カーストッパー「アルデコール」ができたのは平成27年だ。「アルデコール」はエクステリア工事専門店で人気を博したが、そのうちに課題が浮上。「アスファルトの駐車場に設置した際、固定用のボルトが抜けることが起こった」(高田社長)ようだ。

「ものづくり研究開発支援事業」に採択された同社では、特許事務所や富山県産業技術研究開発センターの協力も得て、テコの原理を応用してカーストッパーが起き上がらない構造に設計を変更。耐久性も万全の「ZETTY」を開発したのであった。

その販路開拓を、「中小企業首都圏販路開拓支援事業」(令和4年より「中小企業大都市圏販路開拓支援事業」)のマネージャーの支援を受けながら進めるとともに、建築資材関連の展示会に出展して、エクステリア工事専門店以外の販売ルートの確保に乗り出したのであった。



▲カーストッパー「アルデコール」は高級車のディーラーショールーム、カフェやファッションなどのおしゃれなお店で採用され、認知が進んだ。平成30年にはグッドデザイン賞を受賞。



▲アスファルトの駐車場用に開発されたカーストッパー「ZETTY」。ステップ部分にタイヤがのると、自動車の自重でストッパーが動かなくなるよう設計・デザインされている。

▶ 鋳造が難しい高純度アルミを素材にして、カーストッパーを開発した高田晃一社長。





アジア経済交流センター

アジアをはじめ世界に羽ばたく企業を支援

8. アジア経済交流の推進

■ アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等

アジア地域における貿易・投資等の経済活動を促進するため、当該地域の情報を収集し、刊行物やウェブサイト等を通じて提供します。

<https://www.near21.jp/>



ホームページでも公開

■ 各種セミナー・中国研究会の開催

● セミナー

県内企業向けに、海外展開に役立つセミナーを開催しています。要請に応じ、セミナー講師の派遣も実施します。

● 中国研究会

中国への理解を深め、中国に関心のある県内企業の情報交換の場とすることを目的とした勉強会「中国研究会」を定期的で開催しています。



9. 海外展開相談窓口の設置

■ アドバイザーの配置

海外経験が豊富なビジネスアドバイザーや貿易投資アドバイザーを配置し「富山県海外ビジネスサポートデスク」と連携を取りながら、アジア地域を中心とする海外販路開拓や海外進出に挑む県内企業の皆様のご相談に応じバックアップします。(事前予約制・無料)

海外ビジネス アドバイザー	貿易一般	福井 孝敏
	中国	藤野 文悟
貿易投資 アドバイザー	東南アジア	鎌田 慶昭
	ロシア	森岡 裕
	東南アジア	宮本 敏和
	中国	稲田 堅太郎

富山県海外ビジネスサポートデスク

- 富山県バンコクビジネスサポートデスク(北陸銀行バンコク駐在員事務所)
23rd Floor Unit 2314, Bhira Tower at EmQuartier, 689 Sukhumvit Road, North Klongton, Wattana, Bangkok 10110, Thailand
TEL:+66-2-261-8495
- 富山県台北ビジネスサポートデスク(ジェック経営コンサルタント台北事務所)
台北市信義区信義路五段5号4楼4B14室
TEL:+886-2-2725
- 富山県ホーチミンビジネスサポートデスク(北陸銀行ホーチミン駐在員事務所)
Suite 1709, 17th Floor, Saigon Tower, 29 Le Duan Street, Ben Nghe Ward, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam
TEL:+84-28-7300-1015

10. 海外市場開拓の支援

国際見本市への出展支援

海外の見本市への出展支援事業を行い、県内中小企業の海外販路開拓をサポートします。

○2023年度予定

2023中日(大連)博覧会	開催地：中国大連市 開催時期：2023年9月(予定)
METALEX2023(タイ)	開催地：タイ バンコク 開催時期：2023年11月

海外バイヤー招へい商談会の開催

海外からバイヤーを招へいた商談会を開催し、県内中小企業の商品・技術を広くアピールします。



経済交流ミッションの派遣

アジア地域での海外展開に意欲的な企業とミッション団を構成し、現地政府機関や現地企業・小売店等を訪問・視察します。

インターネット・SNSを活用した海外販路開拓支援

中国市場に向けて、ライブコマースを活用した県産品PRや有名インフルエンサーの招へい等を実施しています。

海外現地での販路開拓支援

海外現地での県産品テストマーケティング・プロモーションや現地バイヤーとのオンライン商談会等を実施しています。

○2023年度予定

シンガポール県産品プロモーション・商談会事業

富山県産食材×ジャカルタ市内レストランコラボフェア事業

11. 富山県ものづくり総合見本市の開催

国内外のものづくり技術や製品を幅広く展示し、経済・ビジネス交流の拡大を図るため、富山県と産業団体と協力して、富山県ものづくり総合見本市を開催しています。

○開催概要

名 称	T-Messe 2023 富山県ものづくり総合見本市
会 期	2023年10月26日(木)～10月28日(土)
会 場	富山県産業展示館(富山テクノホール)
主 催	富山県ものづくり総合見本市実行委員会
参 加 対 象	県内企業・県外企業・アジア地域を中心とした海外企業を予定
対 象 分 野	工作・産業機械、自動車関連、精密機械、電子・電機、 鋳造・金型、金属加工品、プラスチック、アルミ 等

CASE

3

日の出屋製菓産業株式会社

本部営業グループ
田島 博之 マネージャー

米菓の海外展開にチャレンジ 輸出先が続々と

同社が米菓の輸出を試み始めたのは5年前のこと。JETRO 富山のアドバイスを受けた田島博之マネージャーは、公的機関等が台湾、韓国、シンガポール、ベトナム、中国、香港で開催する商談会等に参加するように。その際、「販路開拓挑戦応援事業(海外)」の支援を受けて販促費の一部に充てたのだ。結果は……。香港、ベトナムでは販売に前向きなバイヤーの知遇を得、後にポップアップストアを出店する台湾の大型商業施設の担当者にも出会った。また当機構が富山県と共同で開催している「海外バイヤー招へい商談会」に参加したところ、香港、シンガポールへの販路が開いたのだ。

「富山県中小企業リバイバル補助金」の支援を受けて取り組んだ、包装機の改良は効果絶大であった。「しろえび小判」のパッケージ上部に直径7～8ミリの穴を開けると、中国の大手コンビニが「吊り下げ販売に便利だと、20フィートコンテナに満載するオーダーを出してくれた」(田島マネージャー)という。

▶ P.5 ● 販路開拓の挑戦支援

▶ P.10 ● 海外バイヤー招へい商談会

● 現地での海外販路開拓支援



◀香港の商談会に参加した際の同社の商談風景。当機構は出展費の一部を支援した。



▲同社の人気商品「しろえび小判」。パッケージ上部に穴をあけることにより、中国の大手コンビニチェーンから大口の注文が。

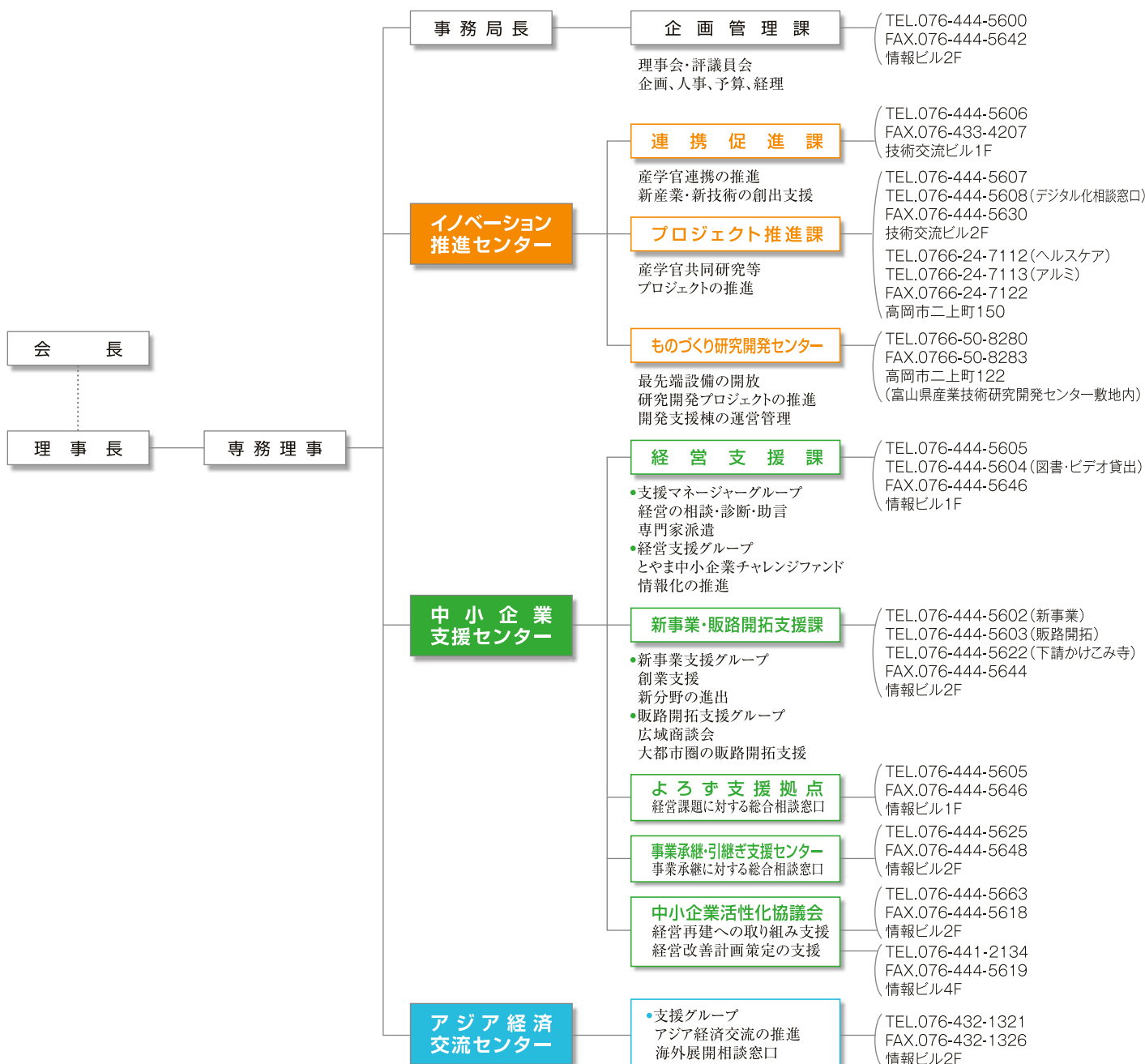


▲当機構が実施したシンガポールでのテストマーケティング(令和5年より「シンガポール県産品プロモーション・商談会事業」)の様子。同社はここで商品のPRと商品に関するアンケートを行い、今後の展開の資料とした。



▶海外展開の先兵として白羽の矢が立てられた田島博之マネージャー。「5年間の実績を踏まえ、次期中長期計画では大きな目標をいただきました」と。

公益財団法人 富山県新世紀産業機構 組織図



交通案内

- JR富山駅から市電で10分、トヨタモビリティ富山Gスクエア五福前(五福末広町)駅下車、徒歩10分
- JR富山駅よりバスで小杉・高岡方面行乗車、五福末広町にて下車、徒歩10分
- 北陸自動車道富山インターより車で約20分
- 北陸自動車道富山西インターより車で約15分
- 富山空港より車で約15分



(A) 拡大図



公益財団法人 富山県新世紀産業機構

[情報ビル] 〒930-0866 富山市高田527番地
[技術交流ビル] 〒930-0866 富山市高田529番地
URL: <https://www.tonio.or.jp/>



当機構HP

2023年3月発行



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。